

令和6年度事業報告

1 評議員会、理事会等の開催

(1) 評議員会

① 第1回

時期 令和6年5月31日

参加者 大山評議員、荻原評議員、足羽評議員、前田評議員、花倉評議員、
山本評議員、市川評議員

議題 令和5年度事業報告及び決算、定款の一部改正 ほか

② 第2回

時期 令和7年3月18日

参加者 大山評議員、荻原評議員、足羽評議員、前田評議員、花倉評議員、
山本評議員、市川評議員

議題 令和6年度補正予算、令和7年度事業計画及び収支予算 ほか

(2) 理事会

① 第1回

時期 令和6年5月10日

参加者 山根会長、谷村理事、福永理事、田中理事、黒田理事、
安養寺監事、竹内監事

議題 令和5年度事業報告及び決算、定款の一部改正、評議員会の開催
ほか

③ 第2回(書面 決議の省略)

時期 令和6年7月10日

参加者 山根会長、谷村理事、福永理事、田中理事、田邊理事、黒田理事
安養寺監事、竹内監事

議題 副会長の選任

② 第3回

時期 令和6年10月9日

参加者 山根会長、谷村理事、福永理事、田中理事、田邊理事
安養寺監事、竹内監事

議題 協会長表彰被表彰者の決定 ほか

④ 第4回

時期 令和7年3月4日

参加者 山根会長、福永理事、田中理事、田邊理事、黒田理事、谷村理事
安養寺監事、竹内監事

議題 令和6年度補正予算、令和7年度事業計画及び収支予算、
評議員会の開催 ほか

(3) 正副会長会

- ① 第1回開催日 令和6年 5月 8日
- ② 第2回開催日 令和6年 7月29日
- ③ 第3回開催日 令和6年10月 1日
- ④ 第4回開催日 令和6年12月26日
- ⑤ 第5回開催日 令和7年 2月25日

2 身体障がい者福祉大会

(1) 第64回鳥取県身体障がい者福祉大会

日時 令和6年11月20日(水)

場所 とりぎん文化会館 小ホール

参加者 約160名

内容 ○ 鳥取県身体障害者福祉協会長表彰 計7名
自立更生2名、役員功労5名

○ 講演

① 講師：ヨガ講師 トータルヘルスコーチ 浦富靖子氏

演題：笑顔の力～清く・優しく・美しく～

② 講師：鳥取県障がい福祉課長 小林一義氏

演題：鳥取県の障がい福祉施策について

○ 議事：提出議案説明、大会宣言採択、大会決議採択

(2) 第48回中・四国ブロック身体障害者福祉大会かがわ大会

日時 令和6年11月8日(金)

場所 丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス

参加者 671名 内鳥取県80名

内容 ○ 表彰 計26名 内鳥取県3名

○ 議事：提出議案説明、大会宣言採択、大会決議採択

(3) 第69回日本身体障害者福祉大会いしかわ大会(地震の影響により中止)

3 スポーツ大会

(1) 第60回鳥取県身体障がい者体育大会

日時 令和6年9月19日(木)

場所 倉吉体育文化会館

参加者 約240名(協会+施設)

競技種目 ラダーゲッター 39チーム

卓球バレー 12チーム

ボッチャ 30チーム

総合順位

協会の部

施設の部

優勝 八頭郡チーム

みのりサングリーン

2位 岩美町チーム

向山ブルースカイ

3位 西伯郡チーム

(2) 地区スポーツ大会

各地区で随時開催(実施団体：16団体、中止団体：2団体)

(3) 第16回鳥取県障がい者グラウンドゴルフ大会

日時 令和6年9月29日(日)

場所 潮風の丘とまり グラウンドゴルフ場

参加者 57名

総合順位 1位 西村 真理子 氏(北栄町)

2位 平田 雅人 氏(若桜町)

3位 安養寺 立志 氏(河原町)

4 生活訓練事業

(1) 日常生活訓練事業(鳥取県身体障害者福祉協会)

日時 令和7年2月27日(木)

場所 エースバック未来中心 小ホール

参加者 約130名

内容 講演

講師：鳥取県障がい者スポーツ協会スポーツ指導員 鄭賢雨 氏

演題：韓国と日本の障がい者について

～挑戦と共感の現代的アプローチ～

(2) 日常生活訓練事業(鳥取県腎友会)

透析患者、腎臓移植患者等を対象に、医療・福祉等に関する知識の向上と理解力の強化を図るため、研修会を開催した。

(3) オストメイト日常生活訓練事業(日本オストミー協会鳥取県支部)

オストメイトに対して、ストーマ装具の装着訓練等更生訓練を組織的に行い、指導者を養成することにより、在宅身体障がい者の福祉の増進を図った。

(4) きこえない・きこえにくい人の日常生活訓練事業(鳥取県聴覚障害者協会)

コミュニケーションの手段に著しい障がいをもつため、社会生活上困難な状況に置かれがちなきこえない・きこえにくい人の生活に必要な知識の吸収の場を設けることにより、きこえない・きこえにくい人の社会参加の増進を促進した。

(5) 在宅重度障害者社会参加促進事業(日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部)

筋ジストロフィーによる重度の障がい者の健康の維持と生きがいを高めるため、今年度は、生活面、医療面、学校生活(進路)などの悩みに対して、医療、行政関係者を交え相談を行い、ボランティアとのふれあいや催し物を通し、生きがいにつなげた。

(6) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業(鳥取県清音会)

疾病等により咽頭を摘出し、音声機能を喪失した者に対し発声訓練を行い、社会参加の促進を図るとともに、この発声訓練に携わる指導者の養成を行うことにより音声機能障がい者の福祉の増進を促進した。また、医師、看護師、言語聴覚士の医療関係者との意見交換等により情報収集に努めるとともに、ネット

ワークや連携をより一層図った。

5 身体障害者相談員支援体制強化事業

(1) 第25回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会

日時 令和6年9月27日(金)

場所 高知県立ふくし交流プラザ多目的ホール(高知市)

参加者 全体 155名

うち鳥取県 14名(内1名は世話役)

内容

① 講演 演題：改正障害者差別解消法の課題

～不当な差別的取り扱い、合理的配慮の正しい理解～

講師：弁護士 田中 伸明 氏

日本障害フォーラム政策委員会委員長

② 取組事例発表

事例：パラスポーツの交流を通じた相談員活動

発表者：梶原町身体障害者相談員 宮本友和 氏

(2) 鳥取県身体障害者相談員研修会

日時 令和6年7月4日(水)

場所 倉吉体育文化会館 大研修室

参加者

鳥取県身体障害者相談員 38名

市町村行政職員 3名

県障がい福祉課 1名

研修内容 講演

テーマ：障害者差別解消法の一部改正に伴い相談員が
取り組むべきこと

講師：岡山県身体障害者福祉連合会会長 藤田勉 氏

6 鳥取県障害者社会参加推進センター設置事業

障がい者の地域における「自立と社会参加」を促進するため、三障害（身体、知的、精神）を対象とした事業を検討、展開した。

(1) 鳥取県障害者社会参加推進協議会の開催

日時 令和7年3月12日(水)

場所 県民ふれあい会館 大研修室

参加者 17名

(2) 鳥取県障がい者作品展示会

① 開催期日及び場所

東部 令和6年11月29日(金)～12月 2日(月) 県民ふれあい会館

中部 令和6年11月22日(金)～11月25日(月) パープルタウン

西部 令和6年12月 6日(金)～12月 9日(月) 米子しんまち天満屋

②出品部門及び出品作品数

【出品部門】 絵画、版画、書、写真、民芸美術工芸品、手芸品、編み物

【展示作品数】 東部 79点、中部 63点、西部 136点

③来場者

合計	約670名	東部	約230名
		中部	約170名
		西部	約270名

(3) 障がい当事者による障がい者理解公開講座

障がい当事者等が企業・団体等に出向き、障がい者の暮らしの状況、接し方、障がいの特性などを説明し、障がい者に対する理解を深めていただくため、「障がい当事者による障がい者理解公開講座」を実施した。

○ 企業・団体等への周知

鳥取県観光事業団、岩井温泉明石家・岩井や、鳥取県商工会連合会、皆生温泉旅館組合、皆生つるや、皆生グランドホテルなどの計11事業所・団体等を個別訪問し周知した。

○ 講座の開催

今年度は次の5団体で講座を開催した。

○ 南部町身障協会＋南部町社会福祉協議会＋緑水園（南部町）

実施時期 令和6年4月19日（金）

講座参加者 33名

講師 身体障がい者（下肢機能障害者）

その他 DVDの視聴、障害者差別解消法の一部改正の説明

○ おーゆ・ホテル（米子市）

実施時期 令和6年6月21日（金）

講座参加者 19名

講師 身体障がい者（車いす利用者）

知的障がい者（当事者同席）

精神障がい者（当事者同席）

その他 障害者差別解消法の一部改正の説明

○ 岩美町身体障害者福祉協会（岩美町）

実施時期 令和6年7月10日（水）

講座参加者 22名

講師 身体障がい者（車いす利用者）

その他 障害者差別解消法とあいサポート条例の説明

○ とっとりコンベンションビューロー（米子市）

実施時期 令和6年12月12日（木）

講座参加者 24名

講師 身体障がい者（車いす利用者、視覚障がい者）

その他 誘導体験、施設点検

○ 山陰松島遊覧株式会社（岩美町）

実施時期 令和7年2月21日（金）

講座参加者 10名

講師 精神障がい者（当事者同席）、

その他 障害者差別解消法の一部改正の説明

（4）障害者による書道・写真全国コンテストのとりまとめの実施

毎年実施される「障害者による書道・写真全国コンテスト」の応募とりまとめ協力機関として、県下の障がい者の書道・写真作品を募集・とりまとめの上、実施機関である全国障害者総合福祉センターへ送付した。

今年度は、鳥取県からの入賞者はいなかった。

【コンテストの概要】

＜募集期間＞令和6年7月から9月27日

＜応募状況＞

全国応募状況 1,026点

（書道部門828点、写真部門125点、携帯フォト部門73点）

鳥取県応募状況 22点

書道部門 19点、写真部門 2点、携帯フォト部門 1点

（5）広報紙「ぴよんぴよん鳥取第19号」の発行

（6）鳥取県障がい者グラウンドゴルフ大会への助成（スポーツ大会：再掲）

7 国・県等への要望活動

国等への要望書の提出（中四国で協議、日身連を通して）

県議会各党への予算、制度等の要望等

8 広報活動

（1）広報紙「青空」の発行 年2回

（2）日身連機関紙「日身連」の配布 月1回

（3）報道機関への情報提供 随時（トピックの都度）

（4）HPによる情報発信

（5）協会パンフレットを活用したPR

（6）「ぴよんぴよん鳥取」の発行（センター事業：再掲）

9 自主財源の確保

（1）賛助会員の確保

（2）日身連収益事業所が行う物品斡旋手数料

（3）麺製品等の販売斡旋促進による手数料

（4）自動販売機の設置

清涼飲料水の自動販売機設置による財源確保

（5）JRジパング倶楽部（特別会員）入会・更新の斡旋

（6）その他